

レクイエム・プロジェクトとは

作曲家・上田 益(うへだ すずむ)が主宰する「レクイエム・プロジェクト」は、人と人、地域と地域をつなぐ合唱プロジェクトとして、阪神・淡路大震災の被災地である神戸で2008年に始まりました。これまで全国10箇所で開催し、現在、北いわて(久慈、野田村など)、仙台、東京、神戸、兵庫県佐用町、広島、長崎といった自然災害や戦災で傷ついた7地域で継続した活動を行っているほか、海外公演(プラハ、ウィーン、パチカン、イタリア、ポーランド)も行っています。
<https://www.requiem-project.com>



レクイエム・プロジェクト東京2015
 ～戦後70年、追悼と希望、そして平和への思いを未来へ～
 (ティアラこうとう 大ホール)



現在までのプロジェクト実施地域、関連活動地域

神戸(2008年2月～現在)

レクイエム・プロジェクト発足の地。阪神・淡路大震災犠牲者の追悼をきっかけに2008年2月から準備活動が始まり、7月から合唱団の練習を開始。現在、活動14年目。2016年までは毎年震災の日である1月17日にコンサートを実施。2017年より、他地域の団員が参加しやすい日程で開催。各地のプロジェクト・コンサートに毎回有志が多く参加し、活動の中心的存在。毎年コンサートを開催。



兵庫県佐用町(2010年11月～現在)

2009年に発生した水害犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。現在活動11年目。各活動地域の中で混声合唱団から唯一の女声合唱団に昨年変更。数年に1回コンサートを開催するほか、積極的に合唱団としての定期演奏会を行う。

長崎(2012年9月～現在)

原爆犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。趣旨に賛同し、公募により集まった合唱団員数は全国でも有数。2015年のコンサートは長崎市被爆70周年記念事業に、2020年のコンサートは同75周年記念事業に採択。浦上天主堂で追悼コンサートを開催。現在活動9年目。ほぼ毎年コンサートを実施。

沖縄(2010年4月～2015年6月)

沖縄戦の犠牲者追悼をきっかけに那覇で活動を開始。2015年の沖縄戦終結70年の追悼コンサートをもって5年間の活動を終了。

広島(2013年2月～現在)

原爆犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。さらに2014年に発生した大規模土砂災害犠牲者の追悼も加わる。現在活動9年目。ほぼ毎年コンサートを開催。

北いわて(2013年11月～現在)

東日本大震災犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。久慈、野田村を中心に、八戸や盛岡を含む周辺地域からも参加。現在活動8年目。

気仙沼(2015年4月～8月)

東日本大震災犠牲者の追悼をきっかけに期間を限定して活動し、コンサートを開催。

仙台(2013年4月～現在)

東日本大震災犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。東日本大震災被災地の中心的活動地域。毎年1回、コンサートを開催。大船渡や陸前高田の人たちも、毎年仙台のコンサートに参加している。現在活動9年目。

福島(2012年3月16日)

福島市主催の震災復興コンサートに、和合亮一氏との対談や合唱で上田益、指導スタッフ、神戸と東京の合唱団有志が出演。

南相馬(2013年9月～2014年4月)

東日本大震災犠牲者の追悼をきっかけに期間を限定して活動し、コンサートを開催。

東京(2010年4月～現在)

神戸について全国2番目の実施地域。各地のプロジェクト・コンサートに毎回有志が多く参加し、神戸とともに活動の中心的存在。東京大空襲、関東大震災などの災害を活動根拠としている。数年に1回コンサートを開催するほか、不定期に合唱団としての定期演奏会を行う。現在活動12年目。



<海外での活動>

- プラハ(チェコ)：2012年4月1日、東日本大震災チャリティコンサートをドヴォルザーク・ホールでプラハ・フィルと開催。日本から神戸・東京の声楽ソリスト5人と合唱団有志17人が参加。在チェコ日本国大使館後援。
- ウィーン(オーストリア)：2014年10月11日、聖シュテファン大聖堂主催公式コンサート開催。東日本大震災から3年を迎え、その追悼の思いを込め、神戸・東京の声楽ソリスト(指導者)8人、仙台、南相馬、東京、神戸、広島、長崎から参加したプロジェクト合唱団有志、そして仙台フィルメンバー4人を含む総勢158人と現地のプロ・オーケストラにより演奏。
- 復興祈念と平和への祈りを込め、パチカン教皇庁の特別な許可を得て、「パチカン・イタリア特別公演」を2016年9月に実施。サン・ピエトロ大聖堂ミサでの演奏、インスティターナ礼拝堂での献唱(以上パチカン)、聖フランチェスコ聖堂(アッジジ)、サンタ・トリニータ教会(フィレンツェ)での演奏会を行う。声楽ソリスト4人と各地のプロジェクト合唱団有志、総勢106人により演奏。聖フランチェスコ聖堂で初演した、プロジェクト主宰者・上田益作曲「ミサ・プレヴィス〜平安への祈り〜」は、初演に先立ち教皇フランシスコに献呈する榮譽をパチカン教皇庁から与えられた。
- 「レクイエム・プロジェクトinポーランド〜平和への祈り〜」を、クラコフ市特別名誉賞助後援、在ポーランド日本国大使館後援のもと、2019年10月に実施。滅多に演奏の機会を持たないシフィドニツァ・平和教会でのオルガンとのコンサート、クラコフ聖マリア教会での献唱、聖カタリナ教会でのクラコフ・フィルハーモニー管弦楽団との共演、ワルシャワでは聖十架聖教会ミサでの演奏や、ワルシャワ大学日本学設立100周年記念行事の一環としてコンサートを実施。